

◆課程別設置者別部会理事会

●全国高等専修学校協会理事会

2月22日、東京・アルカディア市ヶ谷を会場として全国高等専修学校協会の理事会が開催された。清水信一会長が開会あいさつを述べ、赤池誠章自民党参議院全国区比例支部長が来賓あいさつを述べた。

議事に入り、(1)平成25年度事業計画・収支予算原案(活動方針：①情報公開を推進し、公的教育機関としての独自の財政措置と、未解決の格差是正の実現を目指す。②啓発資料の毎年度発行を国に求め、高等専修学校の社会的認知度向上のための活動を推進する。③わかりやすい学校制度とするために、専修学校設置基準分離の議論の再開を求める。④高等専修学校に学ぶ発達障がい生徒の受け入れ、修学ならびに進路指導に関する支援を推進する。⑤高等専修学校における「いじめ問題」に対して適切な対応を推進する。⑥各都道府県における高等専修学校に対する「授業料軽減等措置」を推進する。⑦東京都の「私立専修学校特別支援教育事業費補助」をモデルとした各道府県の発達障がい生徒受け入れに関する予算措置を求める。⑧各都道府県における授業料減免措置に対する国の支援事業を求める。)(2)今後の予定日程(定例総会・研修会、体育大会、理事会、正副会長・総務・研修合同委員会の開催日程など)、について事務局が配布資料に基づき説明。質疑応答及び広く意見交換を行い、原案どおり異議なく承認された。

理事会終了後に「高等専修学校の学校評価・いじめ問題に関する研修会」がアルカディア市ヶ谷を会場として開催され、35名が受講。清水会長が開会あいさつを述べ、圓入由美文科省専修学校教育振興室長が「専修学校における学校評価ガイドライン」をメインテーマに、平成25年度専修学校関係予算案・24年度補正予算案も含めて説明。続いて、城戸茂文科省初等中等教育局児童生徒課生徒指導調査官・国立教育政策研究所生徒指導・進路指導研究センター総括研究官が「いじめ問題に関する緊急調査結果について」をテーマに、緊急調査概要・いじめ問題への対応の在り方、いじめ問題の関する自己点検について説明し、受講者との質疑応答により終了した。